

たけうち りゅうへい
竹内 龍平さん(武生三中2年)

無駄な食材ないように



生活困窮者に食料支援

フードバンク5年目
県民生協過去13回で1万点

生活困窮者に食料支援を行うフードバンクは、県内各地で活動している。県民生協は、過去13回の活動で、合計1万点の食料を支援した。この活動は、生活困窮者の食料不足を解消し、地域社会の絆を深めることに貢献している。フードバンクは、食品ロスや廃棄物を削減し、資源の有効活用を促進する役割も果たしている。

毎日家庭や外食産業で捨てられている食材や食べ物は全国で膨大な量になっているだろう。スーパーやコンビニで賞味期限が迫り、

販売できず捨てられる商品の量も僕の想像を超える量だと思う。こうした中で、販売できないが食べられる商品を食事に困っている人や施設に届けるフードバンク活動があり、県内でも県民生協が取り組み、5年になるという記事を読んだ。この活動は守っていくことが大切だ。

食料などの廃棄に伴うコストの削減や環境への負荷を軽減する一方で、生活に苦しむ人々を支援するという両面でメリットがある。こうした活動が県内にもっと広がってほしい。家庭でも冷蔵庫に入れたままで食材が無駄になってしまつことがないようにしなければならぬ。資源のない日本だからこそ昔からの「もったいない」精神を社会全体でしっかり守っていくことが大切だ。